

坂井市議会だより



坂井市

第46号

2017.11

9月定例会



三国高校
丸岡高校
坂井高校



坂井市高校生議会



表紙：市内3校の生徒代表による坂井市高校生議会の様子

主な内容

三国高校1日議会塾	2~3	一般質問	10~16
坂井市高校生議会	4~5	定例会審議結果、委員会活動	17
補正予算概要、広域連合・一部事務組合報告	6	Topics、議会日程	18
常任委員会報告	7~9		



大石小学校 6年

しみず みさき
清水 美咲さんの作品です。

「坂井市議会だより」
の題字は、



三国高校

未来を語る三国高校

1日議会塾

平成29年7月14日開催

18歳選挙権の導入を受け、高校生に議会を身近に感じ、市の未来を考えてもらう機会とするため、坂井高校、丸岡高校に続き、今回は三国高校で、「未来を語る三国高校1日議会塾」と題し、3年生6クラスの約200人と意見を交換しました。

第1部では、生徒たちが議会の仕組みなどについて説明を受け、第2部では、各クラス4グループに分かれ、生徒たちからさまざまな意見が寄せられました。

●観光振興と交流人口

高校生

- ・観光客のために、街のいたるところに、モニュメントなどの目印や地図が欲しい。
- ・自然の豊かさを生かした子どもから大人まで遊べるアドベンチャーパークの建設、探検ツアーを企画したらどうか。
- ・東尋坊の周りに何も無い。
- ・祭りなどの行事の規模を大きくして、観光客を増やす。
- ・全国的に有名なアーティストのライブを誘致する。



●移住・定住の促進と雇用の確保

高校生

- ・地元は良いところと感じているので、県内に就職したい。
- ・県外に就職しても、年をとったら地元に戻ってきたい。
- ・大企業を誘致する。
- ・若者が仕事に就けるように、就職環境の充実を図る。
- ・若者の一部の人しか、希望する就職先がない。
- ・人口を増やすために、税金を安くしたらどうか。



●環境の整備

高校生

- ・サンセットビーチにゴミが多い。海をきれいにしてほしい。
- ・川が大変汚れている。昔の竹田川はもっときれいだったと聞いている。
- ・歩道の整備をしてほしい。
- ・三国こども広場周辺が薄暗いので管理・整備をしてほしい。
- ・三国運動公園野球場も立派にしてほしい。

●鉄道・バスの利便性向上

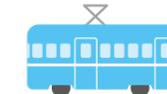
高校生

えちぜん鉄道

- ・通学時間帯の本数が少ない。
- ・JRに比べて運賃が高い。

コミュニティバス

- ・通学時間帯の時刻を見直してほしい。
- ・接続ルートの運行本数を増やしてほしい。
- ・補習や部活があるので、土日でも運行してほしい。



●にぎわいのあるまち

高校生

- ・ショッピングモールを誘致する。
- ・若者が集まる娯楽施設や商業施設を造る。
- ・三国駅周辺が整備改修されているので、飲食店などのにぎわいがほしい。



初の「坂井市高校生議会」を開催

市議会では、将来を担う高校生たちが、議場において市政に対する提案などを行うことにより、市政や議会に関心をもち、まちづくりに参加する意欲を高めるとともに、地域への愛着や誇りを持つことを目的とし、「坂井市高校生議会」を8月7日に開催しました。

坂井市においては初の高校生議会となり、市内3校から三国高校6名、丸岡高校6名、坂井高校8名の計20名の生徒が参加し、開催しました。また、参加者のうち各高校から1名ずつ議長を選出し、交代で議



高校生議会に参加した皆さん

事の進行を務めました。

市からは坂本市長、北川副市長、川元教育長、各所管部長が、市議会からは伊藤議長、古屋副議長、議会報告委員会委員が出席し、本会議が行われました。

高校生を議員に委嘱し、全体会やリハーサルの後、一人ずつ議場に入場し、理事者や市議会議員、傍聴者から暖かい拍手で迎えられました。また、開会にあたり、伊藤議長からあいさつがあり、高校生議員を激励しました。

本会議では、高校生議員が2名ずつ登壇し、日頃疑問に思うことや感じていることなど、一般質問が市長など理事者に対して行われました。

【三国高校一般質問】

高校生議員（敬称略）

川端拳治（議長）、松原魁、高山朋之、森亜由美、上坂ゆうき、高畑ひかる

一般質問

- ・ イベントを利用した坂井市の活性化について
- ・ えちぜん鉄道の現状と課題について

- ・ JR丸岡駅周辺の施設について
- ・ 路線バスの本数について

（順不同）



一般質問をする丸岡高校生

【坂井高校一般質問】

高校生議員（敬称略）

寺澤紗夏（議長）、齊藤正哉、上野稜市、堀之内理沙、本川由佳、廣部勇也、高崎頭、小屋開地悠輔

一般質問

- ・ 観光客の誘致について
- ・ グリーンツーリズムの見直しについて
- ・ コミュニティバスの便数について
- ・ 坂井市を通るJRについて
- ・ 女性の起業活躍について
- ・ 道路の整備について



一般質問をする坂井高校生

【議長講評】

今回の高校生議会を市議会に重ね、

市が抱える財政的制約の中で市民にとってより良い市となるよう意見を出し、それを反映させ、一歩ずつ進んで行くことが重要であります。



講評する伊藤議長

- ・ コミュニティバスの有効な運用について
- ・ 坂井市の文化に特化した国語教育について
- ・ 自然体験ツアーについて
- ・ 三国運動公園について

（順不同）



一般質問をする三国高校生

【丸岡高校一般質問】

高校生議員（敬称略）

渡邊雄大（議長）、白崎圭吾、中西良翔、大崎遼汰、藤澤龍真、宮腰大晴

一般質問

- ・ 市内の道路の整備および街灯の設置について
- ・ 電車とバスの接続について
- ・ 投票率の向上について
- ・ 土日のコミュニティバスについて

市議会としてもそれに取り組み、有権者である高校生議員のこれからの活躍を期待します。

■高校生議員の感想

- ・ 高校生の自分たちが、市に対する意見を発言できる機会を与えられ、うれしかった。
- ・ 高校生議会を通して、市のことを少し理解することができた。
- ・ これから、市がより良くなるよう、少しでも貢献したい。
- ・ 緊張したが良い経験になった。高校生議会を通して、より坂井市に関心を持つことができた。
- ・ 議会、議員は遠い存在だと思っていたが、今回とても身近に感じた。
- ・ どの問題にも、基本的にはお金が関わってくるのだなと思った。

総務常任委員会報告

主な質疑応答

総務部

問 防災行政無線が聞き取れなかった場合、その内容を本庁や支所、コミュニティセンターなどで教えてもらえるのか。

答 台風や防災情報、緊急性のあるものについては本庁、各支所とも対応する。コミュニティセンターについては全ての対応は困難な場合もある。

問 台風18号による、市内の自主避難所への避難状況は。

答 各コミュニティセンターおよび一部の小学校を合わせて23カ所に、職員を2名配置して開設し、3名の市民が自主避難した。



▲防災行政無線自動起動機

総合政策部

問 丸岡バスターミナル周辺整備計画について、バスターミナル前の五差路の交差点において、歩車分離信号を設置できないか。

答 バスの導線については京福バスとも協議しており、この交差点については公安委員会や建設課とも協議していく。

問 ふるさと納税について、リピーターに対してどのように配慮していくか。

答 4月に作成したカタログには、商品名、会社名を掲載したが、今回は問い合わせ先の電話番号などを掲載しリピーターにつなげていきたい。

財務部

問 税の減免制度の市民への周知について。

答 減免制度についてはホームページなどで見ることができる。国民健康保険税に関しては来年に向けてもう少し分かりやすいように見直しを行っていききたい。また、納税通知書に同封する文書に減免制度に関する説明を記載していききたい。

陳情

陳情

陳情第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択
-------	-------------------------	----

<主な意見>

- ・坂井市を含めた地方公共団体の財政需要から見れば、地方財政を抑制する余裕はないため、地方交付税を含めた一般財源総額を確保することは不可欠である。
- ・地方間の財源偏在性は是正のための解決策として所得税、消費税を対象とした国税から地方税への税源移譲となっているが、単なる税源移譲で解決できる問題ではない。

☆発議第3号にて陳情をもとに一部修正して意見書を提出。(P17参照)

陳情

陳情第4号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採択
-------	---------------------------------	----

<主な意見>

- ・CO₂排出というのは、自動車や家電などから排出されている以外にも、生産現場からも多く排出されていることを考えると法人住民税も含めた方が良い。
- ・環境を守ることは国家の事業、責務であるから国税でやるべきである。

☆発議第4号にて陳情をもとに一部修正して意見書を提出。(P17参照)

平成29年度 一般会計 9月補正予算概要

補正額 **4億8,588万円** (補正後の額 391億8,260万円)

主な事業

- ◆ **財産管理事務事業 1,500万円**
丸岡城周辺施設で不足する駐車場を確保するための駐車場整備工事に伴う増額。
- ◆ **幼保園等施設整備事業 3,020万円**
(仮称)雄島こども園や加戸幼保園の駐車場整備工事に伴う増額。
- ◆ **寄附市民参画事業 5,870万円**
寄附市民参画制度において見込まれる寄附額増に対する返礼品費用の増額。
- ◆ **三国湊地区活性化事業 △1,520万円**
事業活用者の辞退による補助金の減額(△2,000万円)および事業にかかる設計委託料の増額(480万円)。
- ◆ **丸岡地区活性化事業 1,850万円**
丸岡バスターミナル周辺整備計画に基づく整備事業にかかる設計・調査委託料の計上。
- ◆ **私立保育所施設整備補助事業 8,986万円**
老朽化した私立保育所の移転新築事業費および私立保育所における防犯対策強化費に対する補助金の計上。
- ◆ **園芸産地総合支援事業 1,500万円**
意欲的に園芸作物生産に取り組む認定新規就農者の施設導入経費に対する補助金の増額。
- ◆ **企業立地促進事業 2,784万円**
市内で一定規模の工場等を新設・増設した企業および新たな雇用を創出した企業に対する助成金交付のための増額。

広域連合・一部事務組合報告

坂井地区広域連合

坂井市とあわら市で構成。
介護保険・さかいクリーンセンター・代官山斎苑墓地に関する事業を行う。

- 平成29年7月：第57回定例会
- 平成29年度一般会計補正予算 他6件を可決・承認
- 主な議案
 - ・平成29年度介護保険特別会計補正予算 可決
 - ・平成29年度代官山墓地特別会計補正予算 可決

嶺北消防組合

坂井市とあわら市で構成。

- 平成29年7月：第2回臨時会
- 平成29年度一般会計補正予算 他4件を可決・受理
- 主な議案
 - ・高規格救急車の取得について 可決
 - ・嶺北消防組合消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例について 可決

福井坂井地区広域市町村圏事務組合

坂井市・福井市・あわら市・永平寺町で構成。
主に清掃センター、YONETSU-KANささおかの運営、電子計算組織(福井市を除く)の共同利用を行う。

- 平成29年7月：第169回定例会
- 平成29年度一般会計補正予算 可決
- 専決処分の承認を求めることについて(福井県市町総合事務組規約の一部変更について) 承認
- 監査委員の選任について 同意

越前三国競艇企業団

坂井市と越前市で構成。
競艇事業の運営を行う。

- 平成29年8月：第2回定例会
- 専決処分の承認を求めることについて 承認
- 平成28年度越前三国競艇企業団モーターボート競走事業会計決算の認定について 認定
- 平成28年度越前三国競艇企業団モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分について 可決

産業建設常任委員会報告

主な質疑応答

産業環境部

問 雇用促進助成金の対象となる市内の従業員について、住所などの確認できる書類はあるのか。

答 入社年月日、住所、氏名、一定期間内に採用されたということを書類で確認している。

問 昼間でも薄暗い公園などの樹木について、美しい森林景観再生事業補助金の対象にはならないのか。

答 この補助金は、自然災害による倒木や松くい虫などの被害による機能回復などが対象になるため、対象にならない。

問 三国花火の収支決算は。

答 実行委員会において有料観覧席、ゴミの持ち帰り、全面禁煙など新たな取り組みを行った。有料観覧席の収支は115万円のプラスになり、花火に要する費用はもとより、シャトルバスや仮設トイレ、音響の経費に充てることができ、昨年の記念大会と同等の花火を打ち上げることができた。新たな財源を得ることで、自主自立ができる花火大会として成果を上げたものと認識している。



▲第37回三国花火大会（平成29年8月11日）

問 米の生産調整に関する市単独の助成金の見通しは。

答 現在、米政策の過渡期であり、安定的な水田農業を維持していくためにも継続していきたいと考えている。

建設部

問 大滝川の改修について、護岸が破損するたびに補正予算で補修しているが、抜本的な護岸の改修の考えはあるのか。

答 抜本的な改修も必要であるが、事業にかなりの投資が必要になるため、補修が必要な部分から順次改修していく方針で対応している。

問 市道における電柱などの占用料の未収金はないのか。

答 北陸電力の道路占用許可申請手続きの不備により、申請漏れがあった。北陸電力で現在精査中であり、明確になった時点で占用料を徴収する。

問 沖布目森田線道路改良事業の進捗状況と年度内の見通しは。

答 平成27年度に道路計画のための全体的な調査を、平成28年度に用地取得に向けての測量、建物の物件補償調査を行った。平成36年度までの完成を目指している。

問 市内の高校に通う通学路の安全点検、改修は。

答 小中学校の通学路については坂井市通学路安全プログラムに基づき順次対応しているが、高校生の部分については不十分である。情報を得て対応していきたい。

教育民生常任委員会報告

主な質疑応答

市民福祉部

問 生活困窮者自立支援事業の包括活性化推進会議の設置はいつになるのか。

答 今、事前準備を進めており、10月中旬には立ち上げる予定である。

問 県が小学3年生まで半額支援している医療費無償化を、中学卒業まで拡充すれば、市が現在単独で実施している、小学4年生から中学卒業までの医療費無料化分を財源に、高校卒業まで拡充できるのではないか。

答 これまでも、市長会で中学卒業までの医療費無料化を要望しているが、小学4年生以降については、市町単独事業でお願いすると、回答を得ている。

問 マイナンバーを利用した情報連携の運用と、※マイナポータル、子育てワンストップサービスの市の取り組みは。

答 情報連携およびマイナポータルは10月中に本格運用開始予定となっているが、子育てワンストップサービスは、申請できるところまではいっていない。

※マイナポータル…政府が運営するオンラインサービスで、子育てに関する行政手続きがワンストップでできたり、行政からのお知らせが自動的に届いたりする。



▲現地調査：新築されたみくに市民センター

教育委員会

問 平成30年に北前船寄港地フォーラムが開催されるが、文化課と観光産業課が一体となって、市全体を盛り上げる方策はあるのか。

答 観光産業課や観光連盟などと、日本遺産認定に向けた懇話会を開いており、その中で北前船寄港地フォーラムについても検討している。

問 平成30年度から、小学校で外国語活動・外国語科の学習が始まるが、授業時間の確保ができるのか。

答 3・4年生で、年間35時間、5・6年生で年間70時間の授業となる。英語に必要な、聞く、話す、読む、書く、を丁寧に学習したいということで、45分単位時間1コマを教育課程として編成できるよう各学校に指示している。

三国病院

問 7月からスタートした地域包括ケア病床は、スムーズにスタートできたのか。

答 5月に地域連携室を改修し、スタッフも増員した。3階の急性期病床から、4階の地域包括ケア病床への転床の流れが確保できている。

問 地域で医師を育てるための取り組みを、坂井市ではできないのか。

答 大学の医学部に研究費を寄付することで、医師の派遣を受けることは可能であるが、財源の確保の問題もあるので、今後の検討課題とした。

一般質問

坂井市の幼稚園・保育園の現状は

問 保育士が不足しているという幼稚園などからの声が多く、また現場では副園長を担任などからの仕事を外し、フリーで動けるようにして欲しいという声があるが。

答 保育士の現場は、子ども相手の仕事場で、誰かが休暇を取ると他の保育士にその分しわ寄せが来るが、フリーの立場で動ける人がいると、休暇も取りやすくなり、環境が良くなると思う。

問 今後、できるだけフリーがおけるような配置を考えていきたい。

答 本市の幼稚園の中で、一番園児数が多い春江西幼稚園が、駐車場がなく、駐車をめぐるトラブルなどが多く聞かれますが、今後の対応は。

問 駐車場となり得る用地を、平成29年度に入って選定し、地権者と交渉を重ねてきた。

答 その結果、北側の水田を駐車場として造成しようということ、地権者の理解も得られ、農地転用の最中である。

問 できるだけ早い時期に予算化し、着工し、駐車場を作りたいと考えている。

答 春江中保育園などのように、園の



▲春江西幼稚園



渡辺 竜彦

プールが小さくプール学習ができない園への対応は。

答 小学校の近くにある園は、小学校の園児用プールを使用しているが、その小学校まで歩いていけない園が市内にはいくつもあり、プール学習ができない環境にある。

問 今後、小学校にある幼児用プールを使用するため、移動のバスなど手配し、プール学習などにおける教育環境に差が出ないように、バスでの移動などを考え検討していきたい。

人材育成事業のさらなる活用を

問 市は学校施設の耐震化に引き続き、市民から強い要望のあった生涯学習施設の整備に取り組んでいるが、こうしたハード設備をいこなせてこそ費用対効果が表れる。

答 平成28年10月に人材育成事業として開校した「坂井市まちづくりカレッジ」は時期を得た適切なソフト事業と受け止める。

問 約1年を経過して第2期の募集を始めているが、受講生の反応や成果、課題は。

答 「坂井市まちづくりカレッジ」は地域の活性化や魅力あるまちづくりのための人材育成や自己の学びを地域に還元する活動につなげることをコンセプトとし、第1期の受講生24名は17回の講義と10回の課外学習を行った。

問 受講生の反応として、新しい気付きを得て、毎回意欲的に学ぼうとする姿勢が強くなり、成果としては、自分たちなりの地域の在り方を研究したレポートを作成したので、行政としてはこれを生かすことを考えている。

答 課題としては、受講生の年齢に幅があり、視点の違いがあった。



▲まちカレ（地域活動に触れる「越前東郷」を訪問）



上出 純宏

問 カレッジを修了し成長した貴重な人材は、今後どのように活用するのか。

答 第1期修了生が実践的なプランを作成し、そのプランを共感するまちづくり協議会とのマッチングを図る企画「（仮称）まちづくりプランミーティング」を検討している。

問 また、市の設置する各種検討委員会のワーキング会議への参加も考えている。

働き方改革の状況は

問 市職員の有給休暇および育児休業の取得状況は。

答 平成28年の有給休暇平均取得日数は6日で、育児休業については27名が新規に取得し、その平均期間は22カ月となっているが、取得者がすべて女性職員であることから、男性職員の育児休業取得の周知、促進を行っている。

問 時間外勤務削減に向けた取り組みをどのように行っているか。

答 毎週水曜日に実施しているノー残業デーに加え、平成29年から毎月19日を「イクボスの日」とし、全職員の定時退庁を進めている。

問 また、7月と8月に「ゆう活」として朝型勤務を実施して早期退庁を促しながら、夕方家族と過ごしたり、趣味を楽しんだりする時間の創出に努めた。

問 各職場の現状の把握に努めて、必要な部署には積極的に正規職員を配置していくべきではないか。

答 第3次定員適正化計画では、新たな市民ニーズに柔軟に対応するため、これ以上の職員削減は行わず、多様な任用形態の職員活用を図ることを基本方針としている。



▲坂井中学校理科室

※イクボス…部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、自らも仕事私生活を楽しむことができる上司
※ゆう活…朝型勤務やフレックスタイム制の活用による早期退庁



辻 人志

教育現場の環境改善は

れぞれの状況に応じて、正規職員、非正規職員、任期付き職員、再任用職員などのバランスを考慮しながら適正な職員配置を行っていきたい。

問 猛暑対策として、音楽室や図工室、理科室などの特別教室にもエアコンを設置すべきではないか。

答 音楽室や理科室など利用頻度が高い特別教室から計画的に対応していきたい。

行政機関の生産性向上のために

問 各コミュニケーションセンターなどの改築、改修や、計画している新庁舎は、どのように生産性向上、効率化に寄与するのか。

答 地域住民の交流が拡大することが土台となって協働のまちづくりが推進できると考える。

問 また、整備された施設で良質なサービスを提供していく。

答 本庁舎整備は1階フロアについて、既存庁舎棟と増築棟をロビーで一体化し、窓口を集約配置し応対の機能性向上を図るとともに、文書などの収納効率など業務の効率化を実現したい。

問 三国病院において、IT技術を使った医療サービスの現状は。

答 電子カルテなどの医療情報システムを整備しており、外来患者順番表示は9月末開始予定、平成30年度には福井メディカルネットを導入予定である。

問 これは患者の同意を得てカルテなどの情報をサーバーに集約し、大きい病院から小さい病院までその情報を閲覧し治療を行うシステムである。

市民の安全を確保するために

問 Jアラートが市内に発せられた場合の対応は。

答 初動体制として関係職員が速やかに参集し情報収集連絡に努め、その後、国民保護対策連絡室会議を開き、安全確保を図るための対策や国、県に対する要望などを協議する。

問 難民に対する海岸線の防衛、衛生面の対策は。

答 入国管理局や自衛隊、海上保安庁、警察が対応するが、市としても情報を市民に提供し注意喚起する。

また、感染症予防対策を実施する。



▲内閣官房国民保護ポータルサイト



南川 直人

実現可能な坂井市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画策定を

問 坂井市第4期障害福祉計画で設定した4項目の成果目標に対する実績値および見込み達成率は。

答 入院中の精神障がい者の地域生活への移行は達成している。福祉施設の入所者の地域生活への移行、地域生活支援拠点等の整備、福祉施設から一般就労への移行の3項目は、目標達成が厳しい状況である。

問 坂井市第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画の目標の実現化には農福連携のさらなる推進などの先進自治体になる取り組みが必要と考えるが所見は。

答 庁内での連携、さまざまな団体とも連携を強化し農福連携の充実に取り組んでいく。

将来につながる教育振興策を

問 福井県が公表した「高校入試制度見直し概要」の具体的な説明を。

答 主な見直しは、考えを論理的に説明する問題や多面的な分析や考察する問題の導入、各高校の特色

小中学校に「がん教育」の導入を

問 学習指導要領でも示されているように「がん教育」実施に向け調査をしているのか。

答 国のガイドラインやモデル校の取り組みなどを研究し、今後の「がん教育」の充実に努めていく。

問 坂井市の小中学校に「がん教育」を取り入れるべきと考えるが。

答 県ではまだ導入している学校はないが、次期学習指導要領では、中学校の保健分野でがんについても取り扱うものと、新たに明記されている。国・県の動向を見据えながら充実を図っていく必要があると認識している。

問 「がん教育」を導入することで、どのような効果があると考えられるか。

答 予防や早期発見に関心を持ち、がんを通じてさまざまな病気も理解を深められる。また、身近な方がかかる場合もあると思われるが、その場合も適切な対応がとれるようになるのではないかと。

問 民間団体と連携することにより「がん教育」が広まると考えるが、健康保持増進に向けた取り組み



川端 精治

にあわせた選択問題導入、英検取得者への加算である。

問 高校入試の英検加算措置を受けて市内5中学校の取り組みは。

答 全生徒に対して、英検受験を指導しており、10月実施の英検で全生徒が受験することになる。

問 今回の大学や高校の入学制度改革は総合的な学力と思考力・判断力・表現力も評価される。所見を伺う。

答 広い視野で物事を多面的、多角的に考える力、主体的に判断し実行する力を教育委員会と学校が一体となって授業改善を行っていく。



▲第4期障害福祉計画 ※農福連携…農業現場での障がい者の受け入れ



後藤 寿和

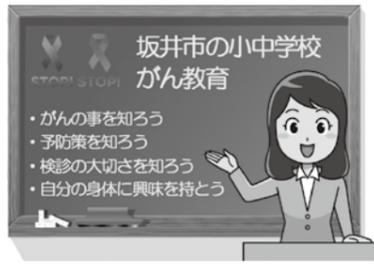
として非常に重要だと考える。医療機関や民間団体と積極的に連携を行うことで浸透させていくと考える。

教員の長時間労働改善、支援員配置に向けて

問 スクール・サポート・スタッフを導入するの。

答 県では学級運営支援員という名称で派遣しており各小中学校に平成28年度は3名、平成29年度は9名を教員の補助業務に従事している。

平成30年度以降も実績を下回ることはないよう県に要望していく。



▲がん教育イラスト

ゆりの里公園整備および運営

問 6月にオープンした農産物直売所の来客数と売り上げ状況はどのようなになっているのか。

答 8月末までの来客数は、3万1900人、売り上げは、3300万円である。

問 9月からは、第2、第4土曜日を「肉の日」と定め、肉を全品2割引としている。

答 また、毎月最終日をお客様感謝デーとして、先着100名の方に粗品を進呈したいと考えている。

問 常に市民や観光客が訪れたいようなにぎわいのある施設について、どのような計画を立てているのか。

答 ゆりの里全体のおもてなしを図るため、イベント時だけでなく、週末は何らかの体験や教室などが開催できるよう、環境を創出していきたい。

今後の農業政策の方向性

問 米の直接支払い交付金が廃止されるが、今後どのように取り組むのか。

答 坂井市農業再生協議会の役割がこれまで以上に重要になっていく



▲黄金色の稲穂がなびく圃場



戸板 進

ことから、農業者が経営戦略を立てられるような支援や、より一層の情報提供に努める。

問 経営所得安定対策が美しい農地を守り、多面的機能を果たしているが、廃止されるとその機能を失うのではないかと。

答 農業者の方々に十分に情報を提供するとともに、今後も国・県の政策を注視し、関係機関と連携しながら、美しい農業環境を後継者に安心して継承できるよう支援する。

高齢者のための通院支援策を

問 高齢者の健康や命を守る大事な交通手段として、高齢者のための通院支援策を求め。

答 身近なところでの互助・共助をもとに、ケースによっては社会福祉協議会などの関係機関と協議し、支援していく。

高齢者の相談窓口として地域包括支援センターを利用してほしい。

障がい者の利用に係る公共施設の使用料の減免に関する条例の策定を

問 公共施設を利用する障がい者の減免の統一を図るための条例の策定を求め。

答 施設の使用料について、減免規定を含め各施設の設置条例などで定めている。

当面は障がい者の利用に関する減免の取り扱いについて周知徹底することにより、統一化を図っていく。

問 障がい者の社会参加を図るうえでも、施設の窓口などに使用料の表示をすべき。

答 今後、分かりやすく統一した表記とするよう取り組んでいく。

霞の郷温泉の大規模改修が必要

問 霞の郷温泉は築17年、これまでに、天井や洗い場の仕切りなど修繕されたが、洗い場の水はけが悪く、滑りやすいなど、入浴者の安全を確保するためにも、施設点検を行い改修すべき。

答 利用者の安全確保にかかわるなど、優先順位の高い修繕は即座に対応し、施設全体の老朽化に伴う大規模改修についても、その時期や財政負担、費用対効果などを考慮し、検討していく。



畑野麻美子



▲車いすテニス練習の様子(丸岡運動公園古城ドーム)

出世山古墳公園管理運営は

問 公園の管理運営、木の伐採、剪定、下草刈りなど、どのように考えているか。

答 今後3年から4年かけて、雑草の根絶、樹木の強剪定、下草刈りなどを行うしていく。

問 教育としての遺跡の活用をどのように考えているか。

答 小中学校の校外学習など、青少年の教育でも活用していきたい。観光、まちづくりにつなげていくことはできないか。

問 庁内で連携を図り、ホームページなどで広く周知していく。講座などを企画し、まちづくりにつなげていきたい。

問 学芸員の増員は。

答 丸岡城国宝化推進、日本遺産への認定など、業務が増加していくと思われるが、適正な人員確保に努めていきたい。

高齢者の消費者被害防止に向けた取り組みは

問 平成27年からの相談状況、被害件数と被害額は。

答 各種詐欺が多く、中でも架空請求詐欺、還付金詐欺の件数が多い。

なっている。平成27年度234件、平成28年度241件、被害額は約3千万円である。

問 消費者被害防止見守りネットワーク連絡会の今後の取り組みは。

答 各団体向けの出前講座など、被害の未然防止や早期発見につなげていく。

問 通話録音装置の設置は。

答 平成29年度から、通話録音装置50台を、高齢者のみの世帯や日中高齢者だけとなる世帯、障がい者世帯を対象に無償で貸与する。



▲出世山古墳公園



田中千賀子

河川の防災対策は

問 台風に対する対策、台風5号、18号の被害状況は。

答 台風などの一般災害体制は、注意報発表で関係部局職員は自宅待機、警報発表で本庁・各支所に職員が緊急参集し、風水害には現場パトロールを行う。

問 台風5号では、JRや高速道路のアンダーパスなどで4カ所の冠水、強風による倒木が数本、18号では被害がなかった。

答 磯部川改修事業のJR橋工事が終了すると下流への流量が大幅に増加する。排水機場のポンプの増設が必要では。

問 地元の強い要望を受け、従前から県に対して要望している。

福井国体への準備状況は

問 平成29年7月15日から18日に、国体プレ大会として、三国体育館・丸岡体育館で少年男子・女子のバレーボール競技が開催されたが、本大会に向けての成果は。

答 競技や式典は運営はバレーボール協会が行い、会場の運営は、ボランティアや市職員302名が参加し、係間の連携や会場設備に関



▲国体に向けてのカウントダウンボード



川畑 孝治

する課題を得ることができた。

問 会場となる体育館や音響・トイレなどの支障はなかったか。

答 体育館の整備は耐震工事に合わせて行い万全の体制で臨んだが、音響やトイレなど調整や増設が必要であると考えた。

問 国体開催は50年ぶりだが、市民の間では、関心や盛り上がりにかけているのでは。

答 広報紙、ケーブルテレビ、フェイスブックなどで幅広く情報発信を行っている。

問 今後は、イベント、決起集会、デモンストレーションスポーツの開催など関心度を高め、市全体の盛り上がりにつなげたい。

今後のまちづくり協議会は

問 まちづくり協議会に期待することとは。

答 住みよい地域社会を作るため、市と地域がそれぞれの課題を共有し、効果的また効率的な解決を図り、自分たちの特性を生かして役割を果たすことである。

問 まちづくり協議会に期待することを実現するために、市は何をなすべきか。

答 平成28年に、地域支援ソフト事業検討委員会によって、まちづくり協議会に対する支援策を取りまとめ、実施している。

①地域の活性化や魅力あるまちづくりのための人材を育成し、その学びを地域社会に還元するために、まちづくりカレッジを開講している。

②区長会と連携強化を図るために、区長会運営交付金を協働のまちづくり交付金と一括してまちづくり協議会に交付し、地域が一体となり事業に取り組めるようにしている。

③組織強化のため、地域づくりの課題の提供や個人の能力向上を目的として、平成29年度、高齢者の健康とまちづくりとコーディネート力の向上をテーマとする研修会を開催予定。

④地域住民の参画を促進するため、パートナーシップ講座を実施し、市政の情報などを提供して、活動を活性化し、参加を促す。

市民が安心して暮らせる財政運営を

問 将来の市を考えていく上での指針となる、中期・長期の財政計画を示す必要がある。

答 第2次総合計画に合わせ、新たな財政計画を策定していく。



▲まちづくり協議会での活動の様子（防災講座）



永井 純一

国民健康保険の県単位化、税を引き上げないと明言を

問 坂井市の国保税の水準は、県内2位クラス。これ以上引き上げないと明確にすべき。

答 できるだけ上げない方法で運営できればいい。

問 国保税の世帯加入者数に係る均等割のうち、子どもに係る均等割の軽減措置の導入を県に対し要求すること。

答 地方からの要望に基づき、国において検討課題とされていることから、動向を注視したい。

「環境出前講座」北陸電力からの講師受け入れの見直しを

問 市は、出前講座環境推進事業として、小学生を対象に出前講座を行っている。

答 講師は、平成28年まで4年連続で北陸電力の広報チームから派遣されている。

問 原発は最悪の環境破壊であり、その事業者である北陸電力からの講師は廃止すべき。

答 環境教育に関しては、取り組み切り口も多様で、幅広い専門知識が必要であることから、講師派遣

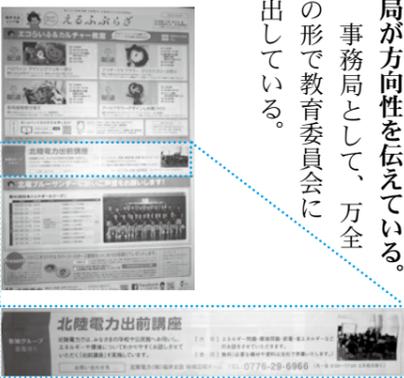
学校給食民間委託の判断を教育委員会は検討していない

問 学校給食の調理業務を民間委託するということは重大な教育行政の変更である。

答 教育委員会として、調査・研究して責任ある判断をすべきだが、その形跡は全くない。

問 事務局で検討し、教育委員会に話し、理解いただいている。

答 教育委員会が判断する前に、事務局が方向性を伝えている。事務局として、万全の形で教育委員会に出している。



▲北陸電力情報誌



松本 朗

定例会審議結果

★9月定例会に提出された議案と議決結果 ○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 -…議長のため原則採決に参加できない

議案番号	件名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
		議決結果	小原 慶之	後藤 寿和	川端 精治	渡辺 竜彦	前川 徹	南川 直人	戸板 進	吉川 貞明	吉屋 信二	上出 純宏	田中 哲治	佐藤 寛治	松本 朗	東野 栄治	伊藤 聖一	辻 人志	川畑 孝治	前田 嘉彦	橋本 充雄	永井 純一	畑野 麻美子	山田 栄	広瀬 潤一	田中 哲治	木村 強	
議案第45号	平成29年度坂井市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	指定管理者の指定の期間の変更及び指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第3号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26

決算特別委員会を設置しました

委員会では、予算が適正かつ効率的に執行されたかどうかや今後の行財政運営においてどのような改善工夫がなされるべきかなどに着眼し、「平成28年度坂井市一般会計」他6会計の決算審査を行いました。

【委員】

佐藤 寛治 (委員長) 小原 慶之 (副委員長)
 川端 精治 南川 直人
 戸板 進 吉川 貞明
 松本 朗 東野 栄治
 橋本 充雄 山田 栄
 広瀬 潤一 木村 強

【日程】

所管審査：10月4日、5日、6日、10日
 意見整理：10月23日、24日、11月2日
 講評：11月13日

※審査結果は次号でお知らせします。

要望書を提出しました

●9月1日

産業建設常任委員会では、嶺北北部地域における物流・交流の活性化や市内幹線道路の交通渋滞緩和のため、福井港丸岡インター連絡道路へアクセスする県道福井森田丸岡線の着実な整備を求める、福井県知事宛ての「福井森田丸岡線の整備促進に関する要望書」を土木部長に提出しました。



▲土木部長に要望書を渡す東野委員長

安全安心の対策を

問 坂井中学校の生徒やPTAなどで作成した、「2016坂井町内安全マップ」に対する見解は。また、「2007坂井町内安全マップ」との比較は。

答 危険箇所における事故などの発生を未然に防ぐための対応として、非常に効果的である。また、比較については、残念ながらあまり変わっていない。道路状況などハード的なものもあり、大変厳しいが今後、参考としたい。

問 課題や要望などの吸い上げや対応は。

答 「坂井市通学路安全推進会議」で、緊急性や優先順位を踏まえ、確認と対策を検討する。防災、防犯、河川管理など対応可能なものについては積極的に取り組んでいく。

地方創生の取り組みは

問 平成29年9月で地方創生5年間の中間年次、前半の効果検証は。

答 4つの基本目標に対し、一定の効果があったと感じているが、人口減少の抑制では、まだまだ道半ばであり、総合戦略の各数値目標の効果として表れるには、時間が

かかる。

問 稼ぐ取り組みの推進状況は。

答 経済・観光の活性化の観点から、平成28年度において、総所得金額を納税義務者で除した平均所得額については、生産年齢で29.3万円、平成26年度に対し、2.2%増となった。

問 また、観光入込客数は55.3万人で平成26年度に対し、11.0万人増となった。

問 坂井市地域創生条例の制定は、次期総合計画に地方創生に関する取り組みを取り入れる予定や、まちづくり基本条例との関係など、課題があるのか、今後の検討する。



▲坂井中学校の生徒やPTAが作成した安全マップ



上坂 健司

農山漁村としての地方創生にどう向き合うか

問 都市部や海外への農林水産物の販路拡大と観光も含めたプロモーションや品質技術の向上による産地間競争力の強化策は。

答 品川区戸越銀座のアンテナショップを中心に農産物や加工品を販売し、売れ行き状況などをもとに判断しながら販路拡大する。また、農林水産省は、2019年に米の輸出を10万トンの目標を掲げているが、今後、国の施策の動向を見極め販路拡大を検討する。

問 観光面では、ゆりの里公園を拠点とした体験型観光を展開し、地元農家や観光連盟と連携しながら、市内観光ルートの一つとして取り組みたい。

答 今後、安全・安心な農産物を第一に、地域の特性に応じた特産品に力を入れ、一定の生産量を確保して、ブランド化することで競争力強化を図っていく。

問 新規就業支援サポートなどの本市の独自施策は。

答 ふくい園芸カレッジや里親における研修時の生活基盤の確保に要する経費や、市内の空き家に居住

した際に必要な家賃の支援をしている。

問 農山漁村に対する本市の考えは。

答 本市は一次産業が全て存在するまちであり、地域の財産や自然環境を守る取り組みを考えていく。また、新規就業者や認定農業者、関係法人などへの補助による支援を継続し、農山漁村での地域コミュニティの醸成を支援していく。



▲いちほまれ刈り取りの様子



田中 哲治

Topics

市議会定例会のインターネット中継(録画中継)を開始!

市議会では、議会改革(開かれた議会)の一環として、市議会定例会一般質問などのインターネット中継(録画中継)を開始しました。

坂井市ホームページ内の、市議会のページにある議会放送から視聴することができます。

また、YouTubeウェブサイト内で「坂井市議会」と検索することで、録画中継の動画を視聴することもできます。



市議会会議録検索システムを導入!

市議会では、議会定例会・臨時会の会議録を閲覧・検索できる会議録検索システムを導入しました。

坂井市ホームページ内の、市議会のページにある会議録から検索システムに入り、会議名や発言者、発言した言葉で検索することができます。

市ホームページアドレス <http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>



● 議会を傍聴してみませんか ●

12月定例会会期日程(予定)

12月 1日(金)10時～	本会議(行政報告・議案説明など)
11日(月)10時～	本会議(一般質問)
12日(火)10時～	本会議(一般質問)
14日(木)10時～	産業建設常任委員会
15日(金)10時～	教育民生常任委員会
18日(月)10時～	総務常任委員会
22日(金)10時～	本会議(委員長報告・採決など)

* 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

● 今後の議会報告会は… ●

9月定例会の報告と意見交換会を行います。議会や市政に対するご意見をお聞かせください。
住所に関係なく、どの会場でも参加できます。

開催日時	会場	
11月20日(月) 午後7時～	みくに市民センター会議室	三国町中央一丁目5-1 TEL 82-7200
	春江中小企業センター2階 多目的ホール	春江町随応寺20-24-1 TEL 51-5181
11月21日(火) 午後7時～	高棕コミュニティセンター3階 大会議室	丸岡町西里丸岡12-21-1 TEL 68-0843
	市役所多目的研修センター3階 大ホール	坂井町下新庄1-1 TEL 66-1500

編集後記

季節は秋に移り、色鮮やかな紅葉や菊やコスモスなどの秋の花が咲き誇る過ごしやすい気候になりました。
今年の夏は梅雨が長く、夏はすぐに過ぎてしまいました。が、例年よりさらに多く全国各地で豪雨による自然災害が発生しました。被災された多くの方々に心からお見舞い申し上げます。
また、日本の安全保障の面でも、北朝鮮による核ミサイル開発が進められ、弾道ミサイルが日本の上空を通過する事態が発生しました。日本は安全な国であるという日本国民の認識が根本から覆される事態となっています。
自然災害、戦争など内容に違いはありますが、私たちは危機管理を意識しなければなりませんと思います。
そんなことを考えつつ、幸せになるために懸命に頑張っている市民のために、これからも親しまれる議会だよりを目指しますので、愛読をお願いします。

(東野)

※問い合わせや議会だよりに対するご意見がありましたら、左記の議会事務局連絡先までご連絡ください。



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用しています。